

特集

在宅看護って

なんだろう？

実践に新たな光をあてる
在宅看護学の誕生へ

地域包括ケアの要と目される
地域の看護力。

医療依存度の高い人の在宅療養、
在宅看取り、まちづくりなど、

期待される役割は多岐にわたります。

それらは新しいことではなく、

すべてこれまでの実践から生まれたもの。

法律や制度がないなかでも

「在宅で生きたい・逝きたい」という

地域の人の願いを実現するために、

現場で試行錯誤された結果が

今の在宅看護をつくっているといえるでしょう。

そのような在宅看護をさらに深め、高め、

次代の在宅看護をつくっていくためには、

「今のこの地域にはどんな看護が

必要なのか」を、看護師自身が

考えていかなければなりません。

本特集では、「実践」の取り組みと

「学」の取り組みを通して、

これからの在宅看護のあり方を探ります。